

非大腸癌・非内分泌腫瘍由来肝転移の切除成績の全国統計

■ 研究の対象

この研究は2001年から2010年の期間に国立がん研究センター東病院で肝転移の切除を受けた患者さんの内、原発腫瘍が大腸がんや(神経)内分泌腫瘍ではない患者さんを対象としています。年齢、性別、併存症などの背景、原発腫瘍や転移巣の情報、手術や術後合併症の情報、再発の状況などを提供していただき研究を行います。但し、この研究の対象になる方々であっても、下に書いてある「本研究への利用お断りの連絡先」にお知らせいただいた方の検体や情報は一切使いません。

全国のがん治療を専門とした施設で集めた臨床情報を匿名化された状態で集めて分析、検討する日本肝胆膵外科学会プロジェクトによる研究です。

■ 研究の目的・意義

大腸がんや(神経)内分泌腫瘍からの肝転移には現在ひろく肝切除が行われており、術後の予後も比較的良いので切除可能であれば肝切除が適応とガイドラインで定められています。しかし大腸がんや(神経)内分泌腫瘍以外の腫瘍から肝臓に転移を認める場合、今まで切除が行われることが少なく術後の予後もよく分かっていないのが現状です。そのため、大腸がんや(神経)内分泌腫瘍以外の腫瘍からの肝転移を認めた患者さんに手術を受けてもらう利点があるのか、また、どのような患者さんに手術を受けてもらうべきか調べるために、全国の肝胆膵外科関連施設施設が協力して過去に行われた手術について詳しく調べることにしました。

■ 研究の方法

対象となる患者さんのカルテから、年齢、性別、併存症などの背景、原発腫瘍や転移巣の情報、手術や術後合併症の情報、再発の状況などを調べさせていただき、個人を特定できる情報を取り除いてから帝京大学医学部外科学講座に送ります。帝京大学医学部外科学講座では、全国から集めた情報を集計し、必要な統計学的検討を加えて、今までよくわからなかった大腸がんや(神経)内分泌腫瘍以外の腫瘍からの肝転移の特徴や治療成績を明らかにしようと計画しています。

■ 個人情報保護に関する配慮

研究のために診断や治療に関する臨床情報をカルテ等から調べますが、研究に用いる際には、個人情報保護の担当者が個人を識別することができる情報を取り除き、代わりにその人と関わりのない番号を付けた上で研究を行います。本研究を通して、患者さんの個人情報が出ることがないように細心の注意を払います。

■ 照会先および本研究への利用お断りの連絡先

住所: 〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1
施設名: 国立研究開発法人国立がん研究センター東病院
代表者: 小西 大
TEL: 04-7133-1111 / FAX: 04-7131-4724